なんでもインフォ 2016. 3

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１－23
E-mail　suzuki@showacd.co.jp
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～ 震災から５年を迎えて ～

注意 本インフォには実際の被災地の画像を掲載しています。５年の節目として掲載してみましたが、不快に思われる方も居られると思いますので、そう思われる方はご覧にならないよう、お願いいたします。

はじめに

平成 23 年 3 月の震災から、間もなく 5 年を迎えようとしています。

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画（復興基本計画）」を平成 23 年 8 月に策定し、これまで、その具体的な施策や事業等を定めた「復興実施計画（第１期）」に基づき、復興に向け取り組んできています。

復興基本計画は、平成 23 年度（2011 年度）から平成 30 年度（2018 年度）までの 8 年間を全体計画期間としており、実施計画は、これを 3 期に分けて策定することとしています。



岩手県復興局資料より

平成 28 年度
・本格復興期間最終年度

現在は、平成 26 年度から平成 28 年度までの第 2 期（本格復興期間）として位置付けられており、本格的に復興事業が進められる期間となっています。そのため、これから迎える平成 28 年度は、本格復興期間最後の年度となりますが、被災地ではなかなか思うように復興が進んでいない所もあるようです。

思うように復興が進まない中でも、着々と本格復興完了に向けて進んでいる地区もあり、今回のインフォでは、ほんの一部ですが現地に直接行きその状況を確認してきましたので、見て感じたことを報告したいと思います。

あくまでも個人的な感想です。実際の状況と違う可能性もありますので、ご了承ください。

釜石市（市街地）

釜石市では、復興期間を 10 年と設定し、震災復興に取り組んでいます。



釜石市「復旧・復興の歩み」より

10 年という長い期間からなのか、本格的な復旧はこれからのように感じられましたが、そのかわり市街地では、被災した建物や、がれき等は見られず、歩道のブロック等は被災した当時のままで、特に歩行に支障が無いようなので、そのまま利用しているようでした。

建物などは多少被災したり、骨組みが残っているようであれば、修復して利用している所が多く、商店や事務所などは通常通り営業しており、震災前の活気を取り戻しつつあるような感じを受けました。（あくまでも個人的な感想です）

【釜石市市街地の状況】



平成 23 年 3 月　　平成 28 年 2 月

宮古市（田老地区）

被災地の中でも最も復興が進んでいると感じたのが、宮古市の田老地区でした。

田老地区では、高台の団地と市街地の大きく 2 つの区域を一体的に整備を進めており、高台区域では平成 27 年の秋に宅地造成が完了し、住宅の建築も進められています。また区画整理区域は、平成 28 年の夏頃の完成を目指し、急ピッチで工事が進められているようです。



高台区域：平成 27 年 11 月



区画整理区域：平成 23 年 3 月



区画整理区域：平成 28 年 2 月

おわりに

復興のスピードはその地区によって様々ですが、確実に前に進んでいる事が感じられました。

まだやる事は沢山ありますが、県人としていち早い復興を目指して、微力ながら尽力したいと思います。



株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路、河川・砂防、橋梁等の計画・設計、CIM, i-Construction に対応した３次元空間計測及び設計を行っております。

”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください。

配布者

作成者：コンサルタント事業部